

◆【さくらの休日 第1回】 '21ミス日本「海の日」吉田さくらさん

憧れの瀬戸内海の島々へ船を操縦して行きたい！②

【二級小型操縦士免許講習】

特に苦戦したのは人命救助の実技です。船が造る波や、海に浮かぶ要救助者との距離を考えながら操縦する力が求められます。力加減が難しく、手に汗を握りながら集中して取り組みました。練習では何度もぶつかってしまったのですが、教官のお手本を何度も見て練習したことで、本番の試験では成功できてとても嬉しかったです。

実際に要救助者を発見した時には試験同様、落ち着いて救助できるよう心掛けたいと思います。

実技の講習と試験が終わると、筆記試験の講習が始まりました。より細かく学科教本の内容を学ぶ中で、慣れない符号や名称に苦戦しながらも、何度も教官に質問して理解を深めることができました。

特にエンジンの基礎知識の分野が面白かったです。しかも面白いだけでなく、大変重要な知識だと思います。なぜなら、小型船舶の海難事故の中で衝突と並んで発生件数が多いのが機関故障であり、その原因の多くが機関取扱い不良です。こうした事故を未然に防ぐためには、まずボート用エンジンの置かれた環境や特徴をよく知り、エンジンの原理や仕組みを理解しておくことが重要だと感じました。

そして実技、筆記試験ともに無事に合格することができ、後日、手元に免許証が届きました。

何より、一人で船を操縦することができるということが嬉しかったです。いつか憧れの瀬戸内海の島々へ船を操縦して行ける日が来ることを夢に、操縦の技術を高めて、航行区域に制限のある二級（距岸5海里）とは異なり、すべての海域が航行区域になる一級小型船舶操縦士免許を取得できるよう努力を続けたいです。

「海員だより」